

小泉が注目する 阿部市政の成果

■「住み続けたい」が85%

世論調査では「住み続けたい」のうち、「ずっと住み続けたい」が43%で、近隣自治体の八王子市や稻城市よりも高いという結果に。「ずっと住み続けたい」50%以上をめざしたいと思います。



■都内で1番の健康寿命！

多摩市は高齢化率の高さに対して、健康な高齢者の割合が多く、65歳以上で介護が必要な人の比率の低さが都内で1番。本当にすばらしいことです。



■誰も見捨てない！エアコン補助

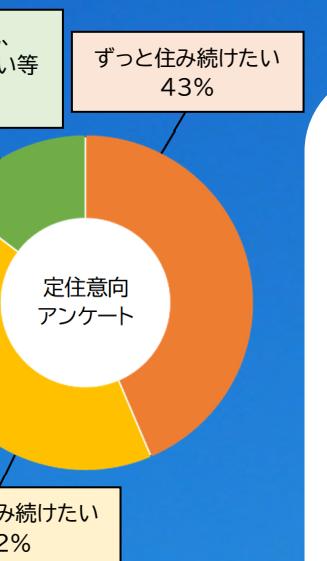
猛暑で熱中症が拡大している中、低所得者へのエアコン補助金事業は、東京都が後から類似の政策を採用するほどの好事例。対象のご家庭を一軒ずつ回った市の職員の姿勢もすばらしいと思います。

■世界一のジェンダー平等に学ぶ姿勢

ジェンダー平等世界一のアイスランドとの交流を促進し、イベントも多数実施。障害者・外国籍市民も含めた幅広い多様性を、さらに尊重・配慮して幸福度アップをめざしたいです。

■バスの自動運転をめざす

6年間でバスの走行距離が35%も減少しています。公共交通の再拡充のため、自動運転の実証実験を開始しています。試乗しましたが、対向車や歩行者の認識機能の高さに驚きました。これは期待できます！



あなたはどう思いますか？
ご意見をお聞かせください。



小泉が実現したい 幸福度アップの提案

■すべての人へ「暮らしと福祉の充実」

- ・物価高対策として子ども食堂やフードバンクへの支援強化
- ・住宅確保困難者への家賃補助、学生の公営住宅入居促進(多世代型コミュニティへ)
- ・訪問介護への支援拡充、ヤングケアラーへの学習支援などのサポート強化



■環境と家計にやさしい街づくり

- ・LEDへの切り替え補助で光熱費の削減
- ・学校の断熱化を促進し、冷暖房効率向上
- ・公共施設を再エネ100%へ
- ・落ち葉バンクで循環型社会に



■みんなにやさしい交通・移動手段

- ・オンデマンド交通(自由経路型)の整備
- ・子どもからお年寄りまで！車椅子、ベビーカー利用者のバリアフリー化の推進

■スポーツ・アート・社会参加で元気！

- ・低料金のミニスポーツ教室などの拡充、周知
- ・音楽、アート、市民農園をじっくり楽しめる環境づくり（こころの健康アップ！）

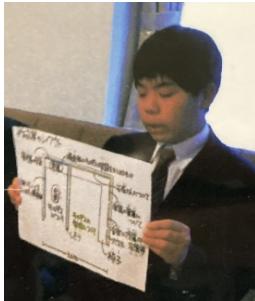


■多様性を尊重する共生の地域社会

- ・ジェンダー平等のさらなる促進
- ・外国籍市民とつながる多文化共生
- ・多世代が共に助けあう地域づくり

私の原点は、諏訪中学校時代の海外協力経験です。

2006年、諏訪中学校の生徒会で副会長を務めていた頃、多摩市出身の青年海外協力隊の方を通じて、キルギス共和国へ楽器を贈る活動を行いました。この国際支援を通じて、格差社会の問題を知り、人の役に立つ大人になりたいと考えるようになりました。



↑日本のキルギス共和国大使館にて

そして2020年、東ティモール民主共和国の職業訓練校でパン作りを教えるという海外協力の要請に応募したものの、コロナ禍で募集停止となり現在は多摩市内で「人の役に立つ」ことを軸として地域活動・市民活動を行っています。



小泉の政治姿勢の基本

●困っている人に寄り添う政治

物価高、介護問題、仕事の悩みなどなど、生きていいく上での困りごとは尽きません。地域での聞き取りを欠かさず、ひとりひとりのリアルな声に真摯に向き合い、問題解決への糸口を見つけていきます。

●参加・熟議・対話を進める政治

私自身、20代前半の頃は政治に無関心でした。しかし興味をもって政治の仕組みや歴史を知っていくと、とても楽しい！この感覚を共有しながら議論を重ねていきます。

●地域から世界へ、持続可能な政治

大規模政党や団体の指示ではなく、地域からのボトムアップを大切にしながら、環境問題など、世界と足並みを揃えて取り組む課題にも、グローバルな視野をもって挑戦します。